

2022 年度

廃棄物資源循環学会 春の研究討論会参加案内

2021年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、「春の研究討論会」をオンラインで開催しましたが、今年度は、2022年5月25日（水）、5月26日（木）の2日間、川崎市産業振興会館で開催します。現在、廃棄物を取り巻く環境が大きく変化する流れの中で、対象とする分野も広がり、それに伴い廃棄物資源循環学会に設置されている研究部会数も14まで増え、部会活動が活発化しています。本学会では、研究部会活動の促進および支援の観点から、部会活動の発表の場を提供することを目的として「春の研究討論会」を開催しています。それぞれの分野における最新の話題や興味深い話題に対して討論を行うことにより、より一層社会と連携し循環型社会の形成や廃棄物問題の解決を目指していきます。

日常生活から社会の生産活動に至る廃棄物の諸問題や資源循環に纏わるテーマについて、研究機関、市民、企業、行政の様々な立場からの研究討論を通じて理解を深めたいと思います。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルスの影響により、予定が変更となる可能性があります。最新情報は学会ホームページ (<https://www.jsmcwm.or.jp>) にてご確認ください。

- 主 催：一般社団法人 廃棄物資源循環学会
- 開 催 日：2022年5月25日（水）13:00～17:30
5月26日（木）10:00～11:30
- 開催場所：川崎市産業振興会館 1階ホール会場及び9階セミナー室
住所 〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 66-20
電話 044-548-4111
最寄駅 JR川崎駅西口 徒歩8分、京急川崎駅 徒歩7分



- 定 員
288名（事前申込制） なお、ホール会場は239名、セミナー室会場は49名

【会場参加者へのお願い】

- ・会場内マスク着用
- ・入口での手指消毒と検温
- ・ソーシャルディスタンスの確保（使用不可と明示された座席には座らない）
- ・発熱・倦怠感・胸部不快、咳・くしゃみ・鼻水等の症状がある場合は来場せずオンラインで参加

- 参加申込方法
学会ホームページ (<https://www.jsmcwm.or.jp>) からお申込みください。

- 参加費：無料

● プログラム：

5月25日(水)

会場	午前 (10:30～12:00)	午後(13:00～15:00)	午後(15:30～17:30)
ホール (1階) 239名		セミナーA【Zoom配信有】 埋立処理処分研究部会 最終処分場の維持管理と廃 止基準について	セミナーB【Zoom配信有】 廃棄物焼却研究部会 一般廃棄物焼却施設におけ るカーボンニュートラルの 可能性
セミナー室 (9階) 49名			セミナーC 廃棄物計画研究部会 廃棄物管理計画のこれか ら、何が問題か、将来のピ ジョンについて議論しよ う！ ～参加者によるワー クショップ～

5月26日(木)

会場	午前 (10:00～11:30)	午後(13:00～16:30)
ホール (1階) 239名		学会賞授賞式 総会 受賞講演
セミナー室 (9階) 49名	セミナーE 環境学習施設研究部会 環境学習施設のつくり方 ― 地域に多面的価値を創出す る施設―	
オンライン	セミナーD【完全Zoom配信】 情報技術活用研究部会 静脈系サプライチェーンマ ネジメントのための情報通 信技術の導入可能性	

セミナーDは、会場での実施はありません。完全オンラインです。

各イベントについては、実施形態が変更となる可能性もあります。学会ウェブサイトあるいはメール等でご案内申し上げます。

セミナーA 最終処分場の維持管理と廃止基準について

(埋立処理処分研究部会)

埋立処理処分研究部会より2002年3月に成果として公表した「廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法」(当時代表: 田中信壽)は、1998年6月に施行された「最終処分場廃止基準」について、考え方、調査測定、評価判断の考察提案を行ったものであり、廃止基準適合を判断する際に参考となる資料として活用されている。

本部会では、埋立地にかかわる実務に利用可能な数理モデルを提案することを目的として、数値埋立工学のワーキンググループを立ち上げ、2021年度は6回の活動を通して、「埋立物・構造・管理」「測定法」「判定基準」「跡地利用」等のキーワードを中心に議論を重ねている。そして、2022年度は「跡地利用の制度」「測定方法と判定基準」を中心に今後の議論を進めることとした。

本セミナーでは、最終処分場の廃止基準にかかわる制度的な側面に焦点をあてて、「廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法」の改定を検討する上での課題と方向性について、参加者と議論を行う。

1. 廃棄物最終処分場の廃止基準の制定に至る経緯
2. 廃棄物最終処分場の廃止基準が求めているもの(制定当時及び現在の考え方)
3. 「廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法」の改定における課題と方向性

なお、この企画はテキスト「廃棄物埋立処分工学の体系化」作成の一環として行う。

セミナーB 一般廃棄物焼却施設におけるカーボンニュートラルの可能性

(廃棄物焼却研究部会)

[趣旨]

2050年までのカーボンニュートラル達成に向け、廃棄物分野においても、廃棄物量の削減やプラスチック資源循環等、3R推進の流れをますます加速させ、廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出を抑制することが求められている。しかし、それでもなお残る廃棄物や、衛生的観点から熱処理が必要な廃棄物の焼却は一定量残ると予想される。そこで当部会では、2050年における一般廃棄物の焼却処理に焦点を当て、カーボンニュートラル化の可能性について探る。

<プログラム(予定)>

1. 2050年カーボンニュートラル化に向けた一般廃棄物を取り巻く環境の変化
株式会社タクマ 森岡 泰樹
2. 一般廃棄物処理の中間処理(焼却)におけるカーボンニュートラル化の可能性
JFEエンジニアリング株式会社 皆川 雅志
3. カーボンニュートラル化に向けた焼却技術の課題と期待される処理技術の紹介
荏原環境プラント株式会社 井原 貴行

セミナーC 廃棄物管理計画のこれから、何が問題か、将来のビジョンについて議論しよう! ～参加者によるワークショップ～

(廃棄物計画研究部会)

脱炭素社会、SDGs、コロナ禍、地域循環共生圏、災害廃棄物、人口減少による地方財政の逼迫等、課題が山積するなか、これからの廃棄物管理はどこに向かって進めば良いのでしょうか?プラスチック資源循環戦略に基づくプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律も施行されます。短期、中長期的な視点の両方から、今、どのような研究、開発、そして議論や取り組みが必要なのでしょうか?国が示す方向性に対して、地方公共団体はどのように行動をとれば良いのでしょうか?

今回の廃棄物計画研究部会では、一度立ち止まって、幅広い参加者の皆さんとのワークショップ形式のコミュニケーションを通じて、短・中長期的な廃棄物管理のあり方についてじっくりと考える場にしたいと思っています。会場だけではなく、オンラインでの参加、ブレイクルームでの議論の場も検討いたします。多くの参加の方、お待ちしております。

■プログラム(予定)

1. 部会長あいさつ
2. ワークショップの進め方の説明

3. ワークショップ
4. グループ毎のプレゼンテーション
5. 総括

セミナーD 静脈系サプライチェーンマネジメントのための情報通信技術の導入可能性

(情報技術活用研究部会)

静脈系サプライチェーンの最適なマネジメントのために適用可能なICT・AIの導入ポテンシャルの探索、システム開発と導入による効果に関する環境面・経済面・安全面から評価について実施した、2019年度環境研究総合推進費「静脈系サプライチェーンマネジメントのための情報通信技術の導入可能性と効果分析(JPMEERF20193005)」の研究成果を報告するとともに、廃棄物処理・リサイクル業界における今後のICT・AIの導入における可能性について検討します。

本セミナーはZoomを用いた完全オンラインとする。

- ① 排出・処理事業者間インタラクションの手法と最適化
北九州市立大学 環境技術研究所 教授 松本 亨氏
- ② 収集過程のトレーサビリティの手法と効果
一般社団法人廃棄物適正処理推進機構 石井 美也紀氏
- ③ 産廃のエネルギー利用高度化を想定した需給マッチング
国立環境研究所 社会環境システム研究センター 環境社会イノベーション研究室 室長 藤井 実氏
- ④ 産業廃棄物焼却施設の維持・管理の高度化
和歌山大学 システム工学部 教授 吉田 登氏
- ⑤ 生産性の向上と適正処理推進のための安全管理の高度化
立命館大学 理工学部環境都市工学科 教授 橋本 征二氏

セミナーE 環境学習施設のつくり方 ―地域に多面的価値を創出する施設―

(環境学習施設研究部会)

本研究部会は、「環境学習施設のつくり方 ―地域に多面的価値を創出する施設―」をテーマに、『月刊廃棄物』で隔月の掲載を開始しました。本年の研究討論会では、このテーマに沿って、ハンドブック制作の進捗報告とともに、施設運営に携わる方々からそのノウハウにかかわる話題を提供し、参加者のみなさまとともに討論したいと考えています。



- ・ご挨拶 本研究部会 花嶋温子代表 (大阪産業大学准教授) (10分)
- ・環境学習施設ハンドブック(仮称)進捗状況と予定(20分)
担当主幹 山口茂子幹事 (川崎重工業株式会社)
- ・施設運営を語りあう(1)「運営組織の作り方～人材と育成」(約60分)
[出演者(オンライン出演者を含む)] (五十音順)
江尻京子氏 (多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターセンター長)
小篠和之氏 (NPO法人豊中・伊丹環境政策フォーラム 事務局長)
長内隆久氏 (豊田市環境学習施設エコット 事務長)
東 飛郎氏 (札幌市リサイクルプラザ/NPO法人環境り・ふれんず 代表理事)

(コーディネーター 花嶋温子代表)

- ・「TEAM EXPO 2025」参画と環境学習施設のご案内 本研究部会事務局